第２学年　　道徳　　学習指導案

1　　主題名　　自主、自律、自由と責任　　A（1）
2　　資料名　　「カラカラカラ」　　出典：きみがいちばんひかるとき（光村図書２年）
3　　主題設定の理由

（1）ねらいとする価値について

頭ではやらなければならない行動と理解していても、他者の言動に左右されたり、周囲を気にしたりして、実際に行動に移せないことがある。自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつ行動は、自分だけでなく他者にとってもよい影響を与え、よりよい社会の実現につながる。他人からの干渉にとらわれず、自主的に考え、判断し、行動することができる強い意志と態度を育てたい。

（2）生徒の実態について

落ち着いて学習に取り組むことができる。ルールを守って学校生活を送ろうとする生徒が多い。一方、お互いに声を掛け合うなどの場面が少なく、仲間内でのコミュニケーションに限定される傾向にある。他者の意見や反応を過度に気にするのではなく、日常の小さな行為でも、自ら考え判断し、その行為に対する責任をもたせ、充実した生き方につなげさせたい。

（3）教材について

主人公の達也は、友人が駅ホームにゴミを捨てているのを見たり、電車内に置きっぱなしの空き缶が気になったりしても、周囲の反応を気にして何もできない。誰にでもあると思われる体験の話を通し、主人公の葛藤と自分自身とを重ね合わせ考えさせたい。また、迷いなく空き缶を拾い上げた男性の姿から、目指す生き方について考えさせたい。

4　　本時のねらい

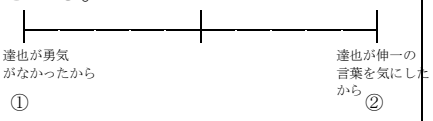
主人公が電車内で転がっている空き缶をどうするか迷う姿から、個人やペア学習を通して自ら考えて行動するとはどういうことかを考えさせ、物事を自主的に考え判断し、誠実に実行し、その結果に責任をもとうとする実践意欲と態度を育てる。

5　　本時の展開

学習活動	主な教師の働きかけと生徒の反応	■評価基準　　○留意点
導入　[5 分] 問題意識をもつ	T1：学校生活で、誰かがやらなければならないことだけど、自分からすすんでできなかった経験はありますか。 S1：係の仕事を自分から「やる」と言えなかった。 S2：休んだ牛乳係の仕事を自分からできなかった。 T2：学校以外で誰かがやらなければならないことだけど、自分からすすんでできなかった経験はありますか。 S3：バスの中で席を譲ることができなかった。 T3：何故誰かがやらなければならないのに、できなかったと思いますか。 S4：自分が「やる」と言う勇気がなかったから。 T4：なるほどね。では今日の授業では、「誰かがやらなければならないことだと理解しながらも行動に移せなかった」主人公の話を読んで、「自ら考えて判断し、行動する」にはどうしたらよいのかを考えてみましょう。	○学校生活にとどまらず、日常生活の中で「必ずやらなければならないこと」だと思いながらも、自分からすすんでできなかった経験について問う。（誰もやりたがらない仕事に関して）
学習課題　「誰かがやるべきことを、すすんでやる」には、どうしたらよいか？		
展開　[40 分] 資料理解 【対話① 資料との対話】 ●主人公を中心とした登場人物の考え方や人間性を確認する (5 分)	T5：では、資料を読みます。「自分が主人公の達也」だと思って読んでみましょう。（範読） T6：登場人物を確認します。誰が資料に登場しましたか。 T7：登場人物を表で確認する。	○ 主人公の達也を中心に、登場人物のとった言動について全体で確認する。

	ガムの包み紙	空き缶
達也	ホームに捨てる伸一に、何も言わず黙って見ている	一度拾ったが、伸一の言葉を気にして捨てることができない。→『カラカラカラ』
伸一	無造作にホームに捨てる「はいはい、わかりましたよ。」→ ゴミ箱に捨てる	捨てようとする達也に「またいい子の達也か」と言う

<table>
<tr><th>学習活動</th><th>主な教師の働きかけと生徒の反応</th><th>■評価基準　　○留意点</th></tr>
<tr><td>【対話②
自分との対話】
(9 分)
状況を確認する</td><td>
<table>
<tr><th></th><th>ガムの包み紙</th><th>空き缶</th></tr>
<tr><td>登</td><td>気にかけていない</td><td>気にかけていない</td></tr>
<tr><td>男性</td><td></td><td>転がった空き缶を、
<u>電車を降りる際に拾って捨てる</u></td></tr>
</table>
T8：　「誰かがやらなければならないこと」とは、資料の中のどんな場面だと思いますか。
S5：　電車の中で転がる空き缶を拾う。
T9：　そうですよね。では主人公の達也は電車の中で転がる空き缶を捨てるべきだと思っていましたか、いませんでしたか。
S6：　捨てるべきだと思っていた。
T10：そうですよね。では達也が行動できなかったのは、なぜでしょうか。
【 発問① 】
達也が空き缶を捨てることができなかったのはなぜだろうか。</td><td>○拾うべきだと思っていた根拠の部分を確認する。</td></tr>
<tr><td>自分の考えを
決める

【対話③
仲間との対話】
(12 分)
手順を説明する
仲間と意見交換しながら考えを深める</td><td>T11：達也が空き缶を捨てることができなかったのはなぜだと思いますか。自分の考えに一番近い位置に○をつけましょう。（ワークシートを配布、自分の考えに近い位置に○をつけさせる。）
T12：では、自分のネームプレートを①から②の間のところに貼りにきてください。
T13：（黒板を示して）みんなの意見はこのようになりました。自分の考えと異なる人に、「なぜそのように思ったのか」をお互いにインタビューしましょう。（時間内に 2 人以上の人と意見交換をさせる。）
T14：では、インタビューをして、仲間の意見を聞いた後に、先ほどの考えがどうなったのかを色ペンで○をつけましょう。また、その理由を記入しましょう。参考になった意見も記入してください。</td><td>○生徒に投げかけながら①・②を提示する。
①達也が勇気がなかったから。
②達也が伸一の言葉を気にしたから。
○上記の①～②を次の位置に置き、自分の考えに近い場所を考えさせる。

</td></tr>
<tr><td>代表生徒が発表し、他者の考えを知る</td><td>T15：インタビューをした後に、気づいたことや感じたことなどを何人かに発表してもらいましょう。
S7：　達也が人目を気にしすぎていると思います。
S8：　達也も気にし過ぎているけど、やりにくい状況を伸一も、つくっていると思います。</td><td>○2～3 人程度から発表してもらう。</td></tr>
<tr><td>●多面的・多角的に考える（5 分）</td><td>T16：では資料の P46 を見てください。達也は男の人と目が合ったとき視線をそらしたのはなぜだと思いますか。
S9：何で拾わないんだと思われている気がしたから。
S10：行動に移せないことがうしろめたい気持ち。
T17：達也と男性は何が同じで何が違ったと思いますか。
S11：良いことをしようという気持ちは同じ。
S12：達也は、人の目を気にしていたが、男の人は誰かがやるべきことを、ためらわずに行動したこと。
T18：達也が空き缶を拾うことができなかった理由を確認しましょう。</td><td>○達也が空き缶を捨てなかったことを後悔していることを確認する。</td></tr>
</table>

学習活動	主な教師の働きかけと生徒の反応	■評価基準　　○留意点
自らを振り返る (9 分) 【対話④ 対話①の自分との対話】 ●多面的・多角的に考える	【 達也が空き缶をゴミ箱に捨てることができなかった理由 】 ・空き缶を捨てなければと思ったが、伸一の言うことに左右されてしまったから。 ・空き缶を捨てなければと思ったが、行動する勇気がなかったから。 【 発問② 】 自分が実際にバスや電車の中で空き缶が転がっていたら 自分からすすんで拾って捨てることができますか。 S13:　捨てることができます。 S14:　周りの目が気になって捨てられないかもしれない。 T19:　達也のように迷ったけど、結局拾うことができなかった、ということは誰にでも起こりうることだと思います。でも、資料の男性のような人のように、みんながやるべきことを、すすんでやるには、どうしたらよいかを考えてみましょう。 まとめ　「誰かがやるべきことを、誰もがすすんでやる」には、 ・人に左右されず勇気をもって行動する。 ・やるべきことをやろうとする人の邪魔をしない。 ・やるべきことをやった人に感謝をする。 ・良いことをした人を褒める。	○日常生活や実際に生徒達が体験した総合学習での場面など、学校生活で生徒が遭遇しそうな状況を提示しながら考えさせる。
終末　[5 分] 振り返り 自分の生き方について考える 【対話⑤ 自分の生き方との対話】	T20：今日の学習を振り返って、これからの自分に必要なことや、今後に生かしたいことは何ですか。	■振り返りをもとに評価する。 ○自分を見つめる記述がなされている。

6　本時の評価

［ 評価方法 ］　ワークシートの記述をもとに評価する。

［ 評価基準 ］　スケールや自らを振り返る活動を通じて、自主的に考え判断し、誠実に実行し、その結果に責任をもつとはどういうことかを理解し、実際の生活の中で生かしていこうとする実践意欲を育むことができたか。